

# ごみ排出量の取組み結果について

令和6年6月12日

提出

行政番号

153

学校名

篠崎第五小学校

校長名

山田 勇一郎

担当者名

朽木 良美

## 1 ごみ排出量比較表

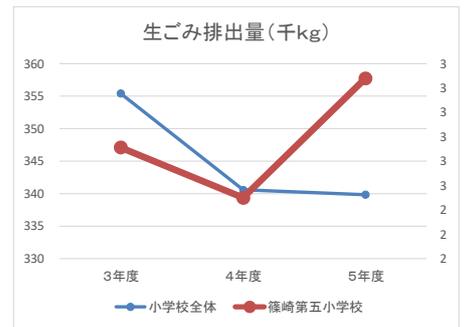
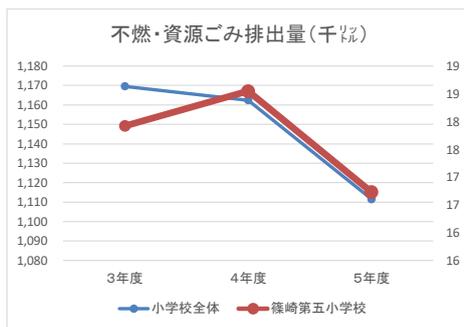
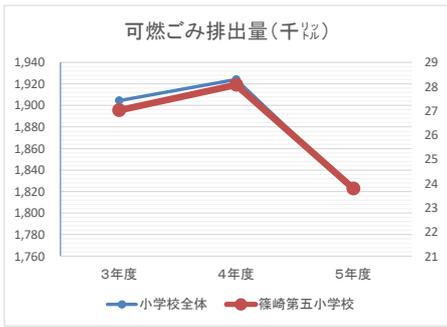
### (1) 小学校全体の排出量について

	使用量				
	3年度	4年度	5年度	目標値	目標達成状況 ※1
可燃ごみ(%)	1,904,570	1,924,150	1,821,050	1,714,113	未達成
不燃・資源ごみ	1,169,540	1,162,410	1,111,560	1,052,586	未達成
生ごみ(kg)	355,409	340,593	339,833	319,868	未達成

### (2) 篠崎第五小学校の排出量について

	使用量				
	3年度	4年度	5年度	目標値	目標達成状況 ※1
可燃ごみ(%)	27,020	28,070	23,800	24,318	達成
不燃・資源ごみ	17,920	18,550	16,730	16,128	未達成
生ごみ(kg)	2,578	2,475	2,720	2,320	未達成

※1 令和5年度の目標は、江戸川区第6次環境行動計画に基づき、令和3年度比-10%となります。



### (3) 篠崎第五小学校のコピー用紙使用量について

※コピー用紙		令和4年度	令和5年度	増減率
購入数(枚)	A4	329,342	306,859	-7%

※コピー用紙の購入数は、再生紙購入金額よりA4枚数へ換算しています。

## 2 令和5年度の取り組みの振り返り

上記の結果を確認していただき、目標の達成・未達成理由や、削減につながった取り組み内容など詳細にご記入ください。評価は各校(園)の増減だけでなく、全体とも比較してください。

可燃ごみ	目標を達成できた。 令和5年度は、取り組み目標として「①分別を徹底する」、「②物品購入の際は、適正量の購入や環境への負荷が少ないものを選んで、購入する」として取り組んできた。分別については、分別の仕方を職員に改めて周知したり、ごみの分別状況についてアナウンスしたりした。 可燃ごみの中にまだ分別できるものがある、という状況も目に見えている。さらに分別を徹底していく必要があると考える。今後も引き続きリサイクルに仕組み、可燃ごみを削減していく。
-11.9%	
減少	
不燃・資源ごみ	目標を達成できなかった。 令和4年度と比較して、不燃・資源ごみの量を大幅に減らすことはできたが、目標には届かなかった。今後、不燃・資源ごみを減少させるためには、そもそもの使用量を減らすことが必要であると考えている。
-6.6%	
減少	
生ごみ	目標を達成できなかった。 給食時の様子を見ていると、時間内に食べ切れず給食を残している児童も見られる。時間内にしっかり食べ切ることができるように指導していく。また、給食業務委託業者とも協力し、残量を減らせるようにメニューや指導を工夫していく。
5.5%	
増加	
コピー用紙	7%の減少させることができた。両面印刷して用紙を減らしたり、使用済みの用紙であっても片面がまだ使えるものは再利用したりするなどの意識が高まってきていると感じる。デジタル教材を活用するなどして用紙そのものの使用量を減らそうとするリデュースについての意識も高めていく。

※数字は江戸川区第5次環境行動計画の基準年(令和3年度)との比較となります。